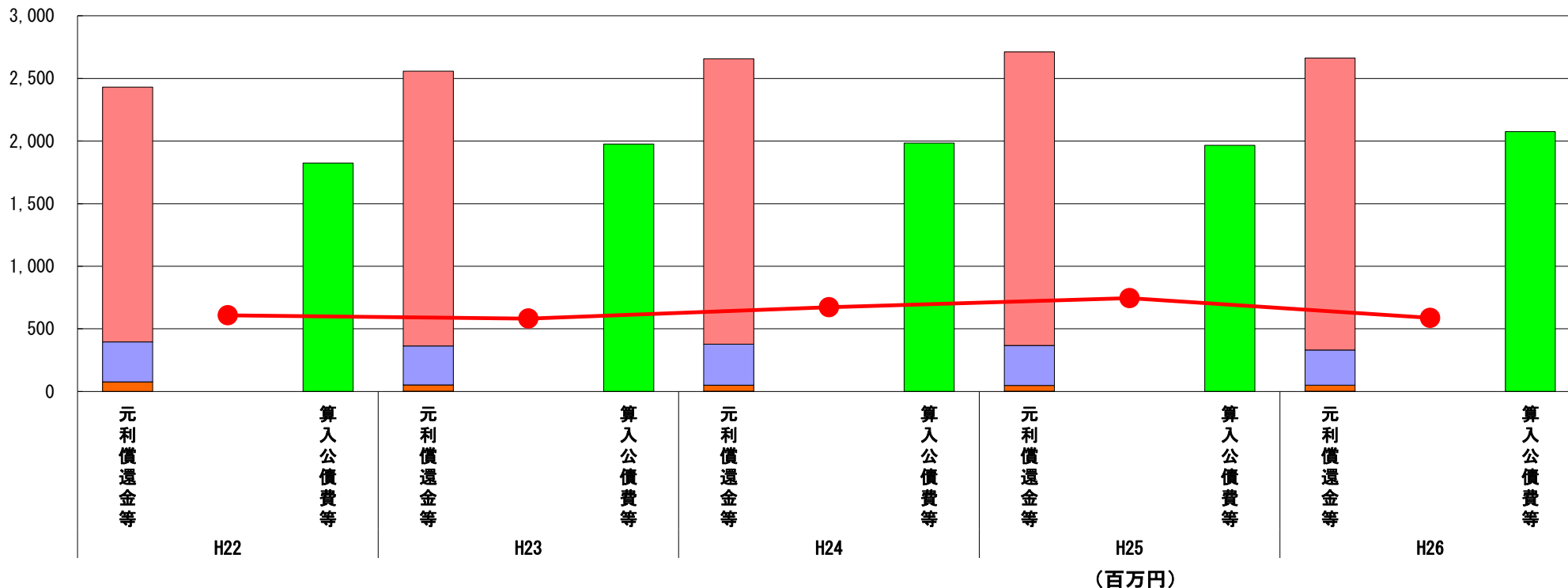


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県四街道市

(百万円)



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,036	2,195	2,280	2,344	2,332
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		319	311	327	318	281
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		77	51	49	48	49
	債務負担行為に基づく支出額		0	1	1	1	1
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,824	1,976	1,985	1,966	2,076
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		608	582	672	745	587

分析欄

元利償還金は臨時財政対策債の増により、近年増加傾向にあるが、平成26年度は昨年度に比べて微減している。

また、臨時財政対策債が増加した結果、算入公債費等が増となっているため、実質公債費比率の分子は減少している。

今後は施設の老朽化対策など、大規模事業も予定されているが、国・県支出金や基金の活用により発行額を抑制しつつ、有利な起債を活用することにより、負担を抑制していく。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。